



令和4年4月6日

蒲刈中学校だより

発行：呉市立蒲刈中学校
文責：校長 柿林 浩彦

第1号

第1学期始業式 学校長式辞

新2年生・3年生の皆さん、進級おめでとうございます。

今日から令和4年度が始まり、皆さんの新しい学年がスタートしました。新しい学年になって、「よし！頑張るぞ！」という前向き・ポジティブな気持ちをととも強くもっていると思います。頑張ってください。明日は入学式が行われ、新入生が9名入学します。また、就任式では新しく4名の先生を紹介しました。新入生や新しく蒲刈中学校に赴任された先生方は、新しい環境になって期待と不安でいっぱいです。ですから、お互いに声を掛け合って助け合ったり、教え合ったりすることで不安を減らして、楽しく学校生活を送れるようにしましょう。

さて、本年度、蒲刈中学校は、次の3点を意識して、授業や部活動、その他の活動などを行っていきます。

1つ目は、生徒の皆さんに沢山の自信をつけることです。自信を付ける方法は、小さな目標を1つ1つクリアして「これぐらいはやればできる」と感じる経験を積み重ねることです。小さな目標は、勉強、部活動、生徒会などどんな中身でも構いません。その目標に向かって努力する皆さんを先生方は最大限指導したり、サポートしたりします。そして、目標を達成し自信を付けるのです。先生の立場からは「自尊感情・自己肯定感の育成」と言うのですが、どんどん先生を頼りにし、教えてもらってください。

2つ目は、自分の思いや考えを言うことができる学級や部活動をつくる、つまり「集団づくり」を行います。例えば、授業中、積極的に発表できるムードをつくることです。授業中は「間違えて当たり前」なのです。間違えたから恥ずかしいのではなく、分からないままほっておくの方が恥ずかしいのです。授業中間違えたら、その時は恥ずかしく感じますが、間違えたことや正しい内容は忘れません。この経験から、テストや高校入試などでは同じ間違いを絶対にし



ません。また、自分の思いや考えを仲間と自由に言い合えて、お互いの気持ち
理解し合えるようになると、人間関係も充実し、楽しく元気になります。ちょ
と難しく言えば、「自己開示できる集団づくり」を目指していきます。

3つ目は、学力向上を目指します。本年度の広島県公立高等学校入学者選抜制
度が大きく変更されることはすでに説明しています。変更点の1つに、3年生の
時の学校の成績と入試の時【令和5年2月27日（月）～28日（火）】の得点が
大きく影響することがあります。特に3年生は今日からコツコツと勉強を積み重
ねることが重要になってきます。ですから、全ての生徒の皆さんにとって分か
りやすい授業になるよう改善すること、そして、タブレットを使って家庭におい
ても学習に取り組みやすい環境を目指します。

この3点を目指していくとともに、今年度も先生方は、皆さんの心に寄り添い
ながら学校生活をもっと充実させています。そして、生徒の皆さん、保護者の皆
様、地域の皆様から、頼りになる学校・先生になるよう、頑張ってもらいます。

そして、生徒の皆さんが頑張る姿を本年度も沢山見せてくれることを楽しみに
しながら今年度をスタートします。

令和4年4月6日
呉市立蒲刈中学校
校長 柿林 浩彦

新しく赴任された先生方を紹介します。

教頭	藏本	辰英	先生	竹原市立竹原中学校から
教諭 (社会)	潟岡	幸憲	先生	呉市立昭和中学校から
教諭 (特別支援)	後藤	亜由美	先生	呉市立音戸中学校から
学校主事	北内	静隆	先生	新規採用
学校司書	高島	恵理	先生	新規採用



よろしくお願いいたします。



左から、後藤教諭、潟岡教諭
藏本教頭先生、北内先生 です